進路指導だより

秋田県立秋田きらり支援学校
第５号
平成２８年　３月１１日発行

平成27年度高等部卒業生進路状況

訓練等給付	就労継続支援Ｂ型	会社での仕事は難しいが、作業を通して知識や能力を身に付けられるように訓練を行うサービス。Ｂ型は、雇用契約を結ばずに軽作業を中心に行います。	１名
	就労移行支援	会社等で「働きたい」と考えている人を対象に、働くために必要な訓練等を一定期間行うサービス。	１名
介護給付	生活介護	障害がある人の日中活動をお手伝いするサービス。食事や入浴、排せつなどのお手伝いをしたり、軽い作業や運動、生活するための力を高めるプログラムを行います。	６名
	療養介護	医療と介護などを必要とする人に、医療機関で機能訓練、療養上の管理や看護、日常生活の世話をするサービス。	２名
	施設入所支援	日常生活に必要な食事や入浴、排せつなどのお手伝いを受けながら施設で暮らすことができるサービス。	１名＊
地域生活支援事業	地域活動支援センター	障害がある人の日中活動を支援するサービス。軽い作業や運動を行います。	１名＊
計			１０名

＊は生活介護と併せて利用

１０名の卒業生がこれまでの施設見学や現場実習を経て、本人や保護者の希望、各機関との調整のうえ決定しました。卒業後もケースに応じて追指導を行っていきます。

同窓会入会式

２月１０日午後、本校体育館にて、同窓会入会式が行われました。今年度高等部を卒業する３年生１０名が、秋田きらり支援学校同窓会に仲間入りしました。同窓会会長からの呼名を受け、卒業に向けて一層気持ちが引き締まった様子です。

卒業後も同窓会を通じて、学校や仲間とのつながりを継続してほしいと思います。

中学部　作業製品販売会

２月１７日昼休み、本校の交流ホールで中学部の作業製品を販売しました。１年間、作業学習の時間に製作してきた「油グッバイ（油吸い取りパック）」と「カラフルクリーナー（アクリルタワシ）」のセットを３０セット販売しました。威勢のよい呼び声に、ホール前を通りかかる他校の職員も足を止め、製品を手に取って材料や使い方について尋ねていました。

大盛況の販売会

販売会を通して、自分たちが作った製品が喜ばれる様子やお客様からの「使ってみるね」という声を受け、一層の達成感を味わいました。来年度も力を合わせて、よい製品を作ります！

今年度を振り返って

今年度もそれぞれの学部、学年、学級で進路に関する学習に取り組んできました。その中で、将来にむけて、「こんなことをがんばらなくちゃ」「自分に足りない部分はこれだ」など、自分を見つめることができたでしょうか。高等部では現場実習に行く際、実習先の事業所に評価票を記入してもらいます。挨拶や返事、積極性などを指摘されることが多いです。これらのことは、小さいときから積み重ねていくことで身に付くものだと思います。今後も引き続き日々意識しながら取り組んでいきたいものです。

さて、卒業生の皆さんにおいては、４月から新しい生活が始まります。困ったことがあったら、誰かに相談すること…そうすることで、周りは理解し変わっていくものと思います。自分らしさを大切にしながら、健康に十分留意して、ステキな人生を歩んでください。

（進路指導主事　宮野　佳代子）